

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東  
 コード番号 9903 URL <http://www.kanseki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年11月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	15,537	△0.6	621	△19.3	460	△18.4	283	△13.6
25年2月期第2四半期	15,627	△2.7	771	△16.1	564	△26.1	328	0.0

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 303百万円(△6.2%) 25年2月期第2四半期 323百万円(△0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	19.17	—
25年2月期第2四半期	22.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	26,963	5,214	19.3
25年2月期	25,741	4,963	19.3

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 5,214百万円 25年2月期 4,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	3.50	3.50
26年2月期	—	1.50			
26年2月期(予想)			—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,140	4.0	1,020	6.1	670	14.1	360	7.1	24.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	16,100,000株	25年2月期	16,100,000株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	1,296,766株	25年2月期	1,295,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	14,803,528株	25年2月期2Q	14,804,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日)におけるわが国経済は、円安による輸出の持ち直しによって製造業の業況感に改善がみられており、先行きの不確実性は残しながらも、公共投資などの内需は堅調に推移し、経済活動の水準は緩やかではあるものの徐々に高まりつつあります。しかしながら、食料品や電気料金の値上げに加えて、ガソリン価格も高止まりするなど、生活者の消費マインドが大幅に改善する環境にあるとは言い難く、個人消費回復のスピードは未だ緩やかな状態にあるものと考えられます。このような経済状況のもと、当社は住まいと暮らしを豊かに快適にするための商品とサービスの提供に努め、地域のお客様の生活文化の向上に役立つ「生活快適創造企業」を目指してまいりました。

当社を取り巻く今夏の営業環境は厳しいものであり、関東地方の梅雨明けは例年に比較して早かったものの、7月中旬から8月上旬にかけて気温がさほど高くない戻り梅雨のような状況が続くなどの天候要因により、夏物商品の販売が前年同四半期に比較して大幅に減少したことから、全体の売上に大きく影響いたしました。また経費面においては、第1四半期に3店舗(WILD-1:2店舗、オフハウス:1店舗)を新規に出店したことから、人件費、広告宣伝費、減価償却費などが前年同四半期に比較して増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は155億37百万円(前年同四半期比0.6%減)、営業利益は6億21百万円(前年同四半期比19.3%減)、経常利益は4億60百万円(前年同四半期比18.4%減)、四半期純利益は2億83百万円(前年同四半期比13.6%減)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、店舗施策として、7月に新鹿沼店(栃木県鹿沼市)において、自転車専門館「ネオ・サイクリスタ」をオープンし、より専門的な品揃えの強化に努めました。しかしながら、天候不順による影響で扇風機、網戸、すだれ、よしずなどの夏物季節商品の販売が伸び悩んだことに加えて、円安や仕入商品の値上げなどによる仕入れコストの上昇が利益面に大きく影響いたしました。

これらの結果、営業収益は95億37百万円(前年同四半期比3.9%減)、セグメント利益は3億68百万円(前年同四半期比22.0%減)となりました。

#### [WILD-1事業]

WILD-1事業につきましては、天候不順の影響で夏物商品の動きに不安定さが見られたものの、お客様のアウトドアへの関心はますます高まってきており、家族やグループで楽しむレジャーに関連する商品の販売が好調に推移いたしました。また、富士登山ブームをにらんだアウトドア用品や登山関連用品の企画を実施いたしました。

これらの結果、営業収益は35億98百万円(前年同四半期比9.2%増)となりましたが、第1四半期における2店舗の新規出店にともなう経費増加もあり、セグメント利益は3億12百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。

〔専門店事業〕

専門店事業につきましては、オフハウス店舗において、メンズ・レディース衣料など服飾品の販売が好調に推移しており、加えてお盆期間中にブランドバッグ、腕時計および宝飾品などの販売企画を実施したことなどもあり、業績は概ね計画通りに推移いたしました。

業務スーパー店舗においては、仕入商品の値上げや物流コスト上昇など厳しい環境のもと、新規顧客開拓のためのポスティング等、業務需要掘り起こしのための企画を継続的に実施いたしましたが、天候不順による各種イベントの中止なども多く、大口需要は伸び悩みました。

これらの結果、営業収益は25億98百万円（前年同四半期比0.1%減）となりましたが、第1四半期におけるオフハウス1店舗の新規出店にともなう経費増加もあり、セグメント利益は1億15百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、計画通り安定した利益をあげており、営業収益は3億89百万円（前年同四半期比4.1%減）、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比14.5%減）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、269億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億21百万円の増加となりました。主な要因としては、敷金及び保証金の返還による減少85百万円の減少要因に対し、現金及び預金の増加6億93百万円、クレジット売上増に伴う売掛金の増加1億11百万円、新規出店に伴う商品の増加3億42百万円及び有形固定資産の増加1億8百万円の増加要因によるものであります。

負債は、217億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億70百万円の増加となりました。主な要因としては、短期借入金の減少11億18百万円の減少要因に対し、支払手形及び買掛金の増加9億円、未払法人税等の増加58百万円及び長期借入金の増加10億11百万円の増加要因によるものであります。

純資産は、52億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億51百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払51百万円の減少要因に対し、株式の市場価格の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加19百万円及び当第2四半期連結累計期間において四半期純利益2億83百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は19.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ6億92百万円増加し、12億92百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ2億3百万円増加し10億78百万円となりました。主な要因としては、たな卸資産の増加額3億40百万円、売上債権の増加額1億11百万円及び法人税等の支払額1億7百万円の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益4億53百万円、減価償却費2億10百万円及び仕入債務の増加額9億円の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ67百万円増加し1億79百万円となりました。主な要因としては、敷金及び保証金の回収による収入1億13百万円の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出1億87百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円、敷金及び保証金の差入による支出29百万円及び預り保証金の返還による支出38百万円の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ8億65百万円減少し2億5百万円となりました。主な要因としては、長期借入れによる収入28億50百万円の増加要因に対し、短期借入金の純減少額15億92百万円及び長期借入金の返済による支出13億64百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	661,948	1,355,388
売掛金	185,352	297,140
商品	4,649,831	4,992,216
その他	612,735	624,171
貸倒引当金	△2,574	△459
流動資産合計	6,107,293	7,268,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,847,103	3,991,651
土地	11,772,945	11,772,945
その他(純額)	319,344	283,337
有形固定資産合計	15,939,394	16,047,934
無形固定資産		
	677,837	703,215
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,372,670	2,287,090
その他	644,033	656,310
貸倒引当金	△77	△6
投資その他の資産合計	3,016,626	2,943,394
固定資産合計	19,633,857	19,694,544
資産合計	25,741,150	26,963,000
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,948,356	3,848,808
短期借入金	7,928,022	6,809,474
未払法人税等	126,031	184,953
ポイント引当金	182,450	181,407
その他	642,804	726,837
流動負債合計	11,827,663	11,751,480
固定負債		
長期借入金	7,162,938	8,174,561
退職給付引当金	691,063	713,707
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	83,597	115,122
長期預り敷金保証金	518,274	496,837
その他	465,789	467,962
固定負債合計	8,950,002	9,996,531
負債合計	20,777,666	21,748,012

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,338,976	1,570,928
自己株式	△232,317	△232,470
株主資本合計	4,896,658	5,128,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,826	86,444
繰延ヘッジ損益	—	85
その他の包括利益累計額合計	66,826	86,530
純資産合計	4,963,484	5,214,988
負債純資産合計	25,741,150	26,963,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	15,627,463	15,537,411
売上原価	11,107,900	11,027,745
売上総利益	4,519,562	4,509,665
営業収入	610,993	598,127
営業総利益	5,130,555	5,107,793
販売費及び一般管理費	4,359,385	4,485,828
営業利益	771,169	621,965
営業外収益		
受取利息	340	424
受取配当金	4,153	5,289
受取保険金	17,541	7,880
その他	4,764	1,517
営業外収益合計	26,800	15,112
営業外費用		
支払利息	182,862	175,708
支払手数料	50,000	19
その他	928	737
営業外費用合計	233,790	176,465
経常利益	564,179	460,612
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,189
賃貸借契約解約益	4,965	—
特別利益合計	4,965	1,189
特別損失		
固定資産除売却損	9,152	1,568
賃貸借契約解約損	—	175
投資有価証券評価損	3,508	6,364
特別損失合計	12,661	8,108
税金等調整前四半期純利益	556,483	453,692
法人税、住民税及び事業税	225,562	164,825
法人税等調整額	2,497	5,100
法人税等合計	228,060	169,925
少数株主損益調整前四半期純利益	328,422	283,767
四半期純利益	328,422	283,767

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	328,422	283,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,910	19,618
繰延ヘッジ損益	—	85
その他の包括利益合計	△4,910	19,704
四半期包括利益	323,512	303,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,512	303,471

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	556,483	453,692
減価償却費	206,989	210,133
支払利息	182,862	175,708
固定資産除却損	9,152	1,568
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105,237	△340,303
売上債権の増減額(△は増加)	△81,005	△111,787
仕入債務の増減額(△は減少)	537,613	900,452
その他	△51,344	62,329
小計	1,255,513	1,351,793
利息及び配当金の受取額	4,495	5,714
利息の支払額	△178,952	△171,744
法人税等の支払額	△206,152	△107,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	874,904	1,078,616
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△159,897	△187,411
無形固定資産の取得による支出	△6,686	△35,992
敷金及び保証金の差入による支出	△48,010	△29,987
敷金及び保証金の回収による収入	130,095	113,115
預り保証金の返還による支出	△17,693	△38,877
その他	△10,195	△647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,389	△179,799
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△746,500	△1,592,500
長期借入れによる収入	970,000	2,850,000
長期借入金の返済による支出	△1,225,754	△1,364,425
その他	△69,392	△98,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,071,646	△205,868
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△309,131	692,949
現金及び現金同等物の期首残高	1,202,894	599,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	893,762	1,292,877

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	9,924,699	3,295,020	2,600,672	405,685	16,226,076	12,379	16,238,456	—	16,238,456
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	6,534	6,534	32,700	39,234	△39,234	—
計	9,924,699	3,295,020	2,600,672	412,219	16,232,610	45,079	16,277,690	△39,234	16,238,456
セグメント利益	472,220	332,018	130,099	90,829	1,025,168	6,261	1,031,430	△260,260	771,169

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△260,260千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△260,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	9,537,436	3,598,009	2,598,177	389,077	16,122,700	12,838	16,135,538	—	16,135,538
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	6,534	6,534	32,503	39,037	△39,037	—
計	9,537,436	3,598,009	2,598,177	395,611	16,129,234	45,341	16,174,575	△39,037	16,135,538
セグメント利益	368,295	312,151	115,064	77,679	873,190	11,115	884,305	△262,340	621,965

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△262,340千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△262,340千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。